

提供日 2016/1/8

タイトル 高松宮妃のおひなさま展

担当 公益財団法人静岡県文化財団 事業課

連絡先 TEL 054(203)5714

静岡県文化財団

記者提供資料

徳川家ゆかりのおひなさま 年に一度のお披露目  
**グランシップ「高松宮妃のおひなさま展」2/21（日）より開催！**  
～同時開催：答礼人形「富士山三保子」里帰り展～

## 1 要旨

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、平成27年度グランシップ主催事業として「高松宮妃のおひなさま展」を開催します。十五代将軍徳川慶喜公の孫にあられる高松宮妃喜久子さまが、昭和5年2月4日の御成婚の際にお持ちになった京雛を展示。幅約6m、高さ3.6mの大きさながら、雅な佇まいの雛人形、精巧に作られた約600点の調度品の数々。年に一度のお披露目として、日本の伝統芸能、歳時記を後世に伝える機会です。また、今回は、同時開催として、答礼人形「富士山三保子」里帰り展も開催します。

## 2 概要

区分	内容
公演名	高松宮妃のおひなさま展
会期・時間	2016年2月21日（日）～3月6日（日）10:00～17:00 ※期間中無休 【入場無料】
会場	グランシップ 6階展示ギャラリー（静岡市駿河区池田79-4/JR東静岡駅南口隣接）
内容 ・ サブイベント	<p><b>【高松宮妃のおひなさま展】</b> 十五代将軍徳川慶喜公の孫にあられる高松宮妃喜久子さまが、昭和5年2月4日のご成婚の際にお持ちになった京雛を、平成11年3月に静岡県が譲り受け、以後毎年ひなまつりの時期にグランシップにて展示し、今年で17回目となります。展示ケースは幅約6m、高さ3.6mと大きく、19体の人形を含む約600点の調度品とともに飾られる5段の段飾りです。当時の京都の人形師・田中弥兵衛により製作され、高蒔絵の技法も当代最高のレベルといわれています。各調度品にはひとつひとつに葵の御紋があしらわれ、引きだしなどの中には、実際に使用できるほど精巧に作られたお道具が入っています。また、宮中の方式を厳守して、内裏雛が左側（向かって右側）に座しています。</p> <p>&lt;サブイベント&gt; ○ちょこっとガイド&amp;グランシップ館内見学ツアー 2/21（日）11:00～12:00/13:00～14:00 グランシップサポーターによる展覧会ガイドと館内をめぐるバックステージツアー。 ○ギャラリートーク 2/27（土）14:00～15:00 地歌箏曲演奏・研究家である静岡大学准教授・長谷川慎氏による古楽器の演奏を交えたギャラリートーク。 ○箏のミニコンサート 2/27（土）11:00～11:30/13:00～13:30 グランシップアウトリーチ登録アーティスト福本礼美氏による箏のミニコンサート。</p> <p>&lt;その他&gt; 会場内にて、富士宮本町商店街振興組合レディース会によるつるし飾りを展示。ロビーでは、県内の福祉事業所で丁寧に作られた小物や手作りお菓子などを販売。</p>

主 催	公益財団法人静岡県文化財団、静岡県
後 援	静岡県教育委員会
協 力	公益財団法人高松宮妃癌研究基金、富士宮本町商店街振興組合レディース会

#### 【同時開催 答礼人形「富士山三保子」里帰り展】

昭和2年、日米友好の証として、アメリカから12,739体の西洋人形「青い目の人形」が贈られました。県内にも253体の人形が届き、その返礼として日本全国から58体、静岡県からは人形師・平田郷陽作の「富士山三保子」が贈られました。戦争という不幸な歴史を乗り越え、大切に保存されてきた「富士山三保子」が89年ぶりに静岡へ里帰りし、県内に現存する5体の「青い目の人形」とともに展示されます。

主催：答礼人形「富士山三保子」の里帰りを実現させる会実行委員会事務局（静岡県企画広報部地域外交局内）

#### 4 お問い合わせ

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者：(公財) 静岡県文化財団 事業課 電話 054-203-5714 (担当：河合・渡邊)